

新・群馬県文化振興指針の策定について

～アートので、他にはない価値を持ち、人々を惹きつける群馬の創造～

1 趣旨

新・群馬県総合計画に沿って、20年後の将来を見据えた文化施策の目指す方向性を提示する基本的指針として策定したものです。

2 指針の位置づけ

群馬県文化基本条例に基づく文化の振興に関する基本的な指針、及び文化芸術基本法に基づく地方文化芸術推進基本計画に位置づけられます。また、新・群馬県総合計画の個別計画であり、文化分野における最上位計画です。

3 計画期間

令和5（2023）年度から令和14（2032）年度までの10年間

4 基本理念

誰もがクリエイティブにオリジナルな生き方ができる「ぐんまスタイル」の創造

5 政策目標

（1）文化を担う人づくり

- ①クリエイターの創出・支援
- ②地域の文化を支える人材の育成
- ③カルチャー×クリエイティブ

（2）ボーダレスな地域創造

- ①群馬と世界の物語の発信
- ②文化×創造拠点としての機能強化
- ③多文化×世代×他地域×障害者との共生

（3）新たな価値の創出

- ①文化への戦略的な投資
- ②アート×地域×経済
- ③文化的土壌×デジタル技術×始動人



詳細は、県ホームページを御確認ください。

新・群馬県文化振興指針

~アートの中で、他にはない価値を持ち、人々を惹きつける群馬の創造~

The vision
for the development of art & culture
in GUNMA Prefecture



新総合計画

SDGs・DX展開・官民共創の視点で取組

新・群馬県総合計画が見据える20年後の群馬県を前提に、文化によって「サステナブルな幸せな暮らし」が実現できるよう、バックキャスト思考で取り組んでいきます。



群馬県

群馬パーセントフォーアート

県予算の一定割合をアート振興へ充てるとともに、県民等が主体的にアートに携わり、新たな価値を創造していく仕組みを制度化します。

地域創生部文化振興課

〒371-8570前橋市大手町1-1-1
Tel:027-226-2591 Fax:027-243-7785

群馬県
地域創生部文化振興課

誰もがクリエイティブにオリジナルな生き方ができる「ぐんまスタイル」の創造

デジタルデバイスの普及に伴い、世界中から情報を集めることが出来るようになった今、自由な創造や活動に携わったり、興味のある環境を整えていきます。また、多様な文化にふれることは、自分らしさの追求と「オリジナル」な生き方につながります。20年後の未来に「ぐんまスタイル」を実現するため、文化施策を展開します。

展示や舞台を鑑賞したり…県民の皆さんが、「クリエイティブ」に、自分の可能性を広げていける環境に向けて、様々な価値観を認め、誰もが芸術文化を通して、自ら思い描く、自分らしい生き方ができる

【計画期間】 10年間(2023~2032年度) 文化施策を中長期的な視点で推進します。



目指す未来 20年先のあなたのサステナブルな幸せな暮らし

年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民誰もがどこでも気軽に芸術文化を楽しめ、県民自ら創造、発信することができる、幸福を実感できる暮らし



自分の頭で考え、他人が目指さない領域で動き出し、創造が価値を生む「始動人」が活躍する社会

芸術文化の力で、県民に喜び、感動、発見、つながる群馬らしさとボーダレスな「多様性」を尊重する社会

新しい価値を生み出すイノベーションを発揮できる企業が、デジタルやアートで、新たな「地域経済」を牽引する社会

アートの力で、他にはない価値を持ち、人々を惹きつける求心力を持つ、「快疎」な群馬県を実現

課題

人口減少、少子高齢化、グローバル化、デジタル化の進展、地球温暖化、新型コロナウイルスの感染拡大

担い手の不足

多くの地域の伝統文化団体が人材不足(構成員の高齢化、新規加入者の減少)の問題に直面しています。少子高齢化や余暇活動の選択肢増加により、従来の活動や周知方法のままでは、次世代への継承が難しい状況です。

世代間・地域間の格差

デジタル化の進展に伴い、情報収集ツールの違いによる世代間での情報格差が大きくなっています。また、外国の方など様々な文化的背景を持った人の考えが反映されにくい現状があります。

経済観念の相違

文化活動団体の担い手減少から活動費が縮小し、活動の継続が危ぶまれる団体も出てきています。長期的に活動を続けていくためにも、コスト意識の導入が必要となっています。

など劇的に変わる社会の中で、様々な価値観が生まれ、「ニューノーマル」への転換が必要となっている。

政策目標

文化を担う人づくり

世界を舞台に活躍できる人材、専門的な技術を有する人材、地域の伝統文化を守る人材、そして群馬の未来を託す子どもたちなど、次代の文化を担う人材の育成に取り組みます。

ボーダレスな地域創造

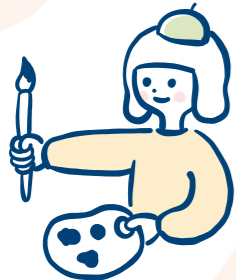
国境、世代、地域などの垣根を超えた(ボーダレス)、文化による地域の創造に取り組みます。世界に誇る文化資産を中心に、自然・風土・文化を活かした世界観を作り“ものがたり”で価値化します。

新たな価値の創出

地域の文化資源と先端技術やアートをかけあわせ、観光振興や新産業創出につなげるとともに、新たな需要や高い付加価値を生み出し、質の高いサステナブルな経済活動の実現に取り組みます。

クリエイターの創出・支援

- アーティストの制作活動支援
- tsukurun®でのデジタル技術による創作活動機会の提供
- マンガ・アニメ・デジタルクリエイター支援



※小中高生という若い段階から、最先端のデジタル機材やソフトウェアで創作活動を行うことのできる施設。



地域の文化を支える人材の育成

- 気軽な伝統文化体験による担い手の発掘
- 子どもや若者に良質な芸術文化に触れる機会の充実
- アーティストと県民・企業・文化団体を結ぶコーディネーターの育成

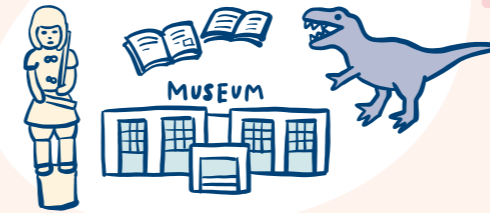


群馬と世界の物語の発信

- 富岡製糸場など世界に影響を与えた群馬の文化資産の発信
- ONSEN(温泉)文化の価値発信

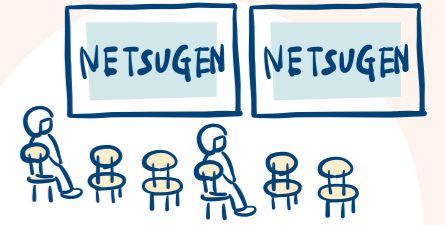
文化×創造拠点としての機能強化

- 文化施設の専門性を活かした地域づくり
- 芸術文化のハブ機能の強化
- 文化施設を拠点とした周遊観光の促進
- デジタルミュージアム構想



文化への戦略的な投資

- 群馬交響楽団「日本一の地方オケ」への支援
- サステナブルな芸術文化活動へのスタートアップ支援



アート×地域×経済

- アートによる地域資源の魅力向上
- NETSUGEN®での官民共創アートプロジェクト支援
- アートの循環システム(エコシステム)の構築

※新たなビジネスや地域づくりにチャレンジする人が集まるイノベーション創出拠点として、県庁32階に設置した「官民共創スペース」

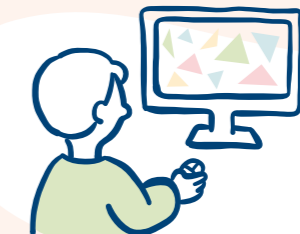
カルチャー×クリエイティブ

- 企画から制作まで、県内各地における文化活動の発表・鑑賞機会の提供
- 世界を魅了するアートシーンの創造
- 芸術文化の敷居を低くした展示・舞台の提供
- マネージメント能力の向上支援



多文化×世代×他地域×障害者との共生

- 担い手と伝統文化団体とのマッチング
- アートを通じた障害者支援・国際交流の促進



文化的土壌×デジタル技術×始動人

- 先端デジタル技術活用の研究
- 地域の文化資源を活かしたものづくり・ものうり支援
- デジタルテクノロジーを活用したアート支援